

求人情報実態アンケート調査の分析結果

しまね産官学人材育成コンソーシアム

求人情報実態アンケート調査_結果の概要



【調査目的】 大学生を「採用できている企業」と「採用できていない企業」の差を定量的に調査し、「学生に響く求人」の条件を分析する。

【実施時期】 **12月下旬～1月下旬**

【調査対象】 **519社** ※コンソ賛助団体、採用計画調査、過去4年間の採用実績からリストアップ

【回答企業】 **158社 (30.4%)**

【有効回答】 **126社 (24.3%)** ※内定の状況と労働条件が揃う回答のみ有効回答とした

【調査概要】 ①求人・内定の状況

②労働条件（給与、年間休日、有給取得率、3年後離職率、平均残業時間）

③ジョブカフェの利用状況

④研修制度

⑤住宅支援

1. アンケート主要指標結果

①内定状況	全業種	内定なし	内定あり
1) 有効回答	126	50	76
②労働条件（平均値）	全業種	内定なし	内定あり
1) 給与	197,340	196,201	198,074
2) 年間休日	112.6	109.4	114.7
3) 有給取得率	57.7%	55.4%	59.3%
4) 3年後離職率	28.8%	26.5%	29.8%
5) 平均残業時間	14.8	15.3	14.5

2. 主な活動・制度に関する調査結果

③ジョブカフェの利用状況	全業種	内定なし	内定あり	内定なし全体に占める比率	内定あり全体に占める比率
0) 未利用	20	10	10	20.0%	13.2%
1) 利用	106	40	66	80.0%	86.8%
④研修制度	全業種	内定なし	内定あり	内定なし全体に占める比率	内定あり全体に占める比率
0) 研修なし	0	0	0	0.0%	0.0%
1) 研修あり	126	50	76	100.0%	100.0%
a.新卒	116	42	74	84.0%	97.4%
b.若手（～3年目）	75	26	49	52.0%	64.5%
c.中堅（3年目～）	64	21	43	42.0%	56.6%
d.管理職	57	18	39	36.0%	51.3%
e.技術・専門スキル習得	71	25	46	50.0%	60.5%
⑤住宅支援	全業種	内定なし	内定あり	内定なし全体に占める比率	内定あり全体に占める比率
0) 制度なし	37	17	20	34.0%	26.3%
1) 制度あり	89	33	56	66.0%	73.7%
a.金銭補助	62	24	38	48.0%	50.0%
b.寮_社宅	37	16	21	32.0%	27.6%



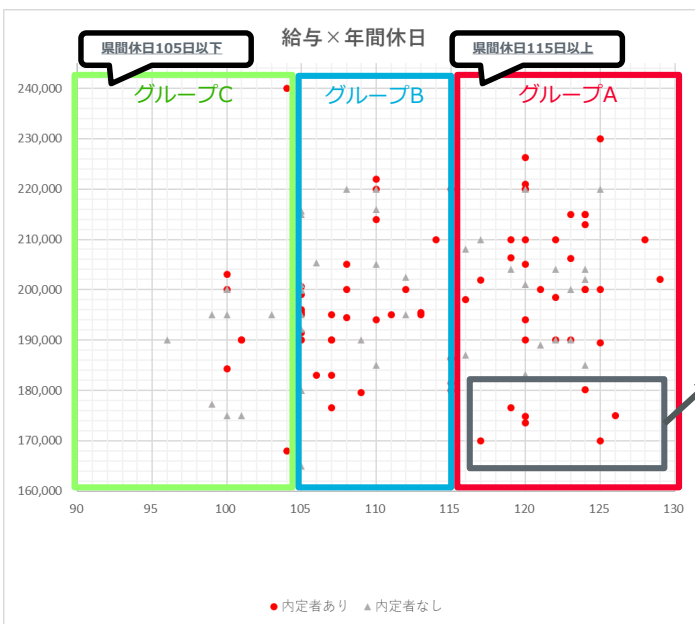
- **ワークライフバランス（特に休日関係）が採用結果に影響を与えている可能性がある**
 - 調査の結果、業種や地域による差はあるものの、全体の傾向としてワークライフバランス（年間休日・有給取得率）の数値が良い企業は内定者を獲得できている傾向がある。
 - 一方、年間休日は求人情報に記載されることも多いが、有給取得率は公開していない企業もあるため、それらの数値を見て学生が企業を選択しているというよりも、ワークライフバランスを重視した「企業の風土」や「そこで働く社員の働き方」などに魅力を感じて選択していると考えられる。
 - ※ 休日や休暇を重視する傾向は、令和3年度に実施した「島根県内若年者就労環境調査」の調査結果と通じる傾向である。（「就職先の職場に求めないこと」への最多回答が、「休日・休暇がとれない（少ない）」であった。）
- **給与水準に関係なく、採用できている企業が存在する**
 - 給与水準に関係なく、採用できている企業が一定数存在している。そういった企業の取組事例を参考にすることによって、小規模・中小規模の企業が大学生を採用するヒントを得ることができる可能性がある。（コンソーシアムにおいて調査予定）
- **給与水準は県内企業と全国平均には大きな開きがある**
 - 依然として、給与水準は県内企業平均と全国平均には大きな差がある。また、賃上げを加速する大企業に対し、賃上げに苦戦する県内中小企業との差は今後さらに広がる可能性がある。
 - コロナ禍が明け、今後県外企業に目を向ける学生が増えることが考えられるため、県内企業においても引き続き、給与水準の引き上げは意識しなければならない。
 - ※ 情報通信業では、内定あり/内定なしで年間休日は同水準だが、給与水準が高い企業が内定者を獲得できている傾向がある
- **県東部と県西部で内定者獲得率に大きな差が存在している**
 - 県西部の回答企業は少ないが、県西部の企業が特に学生の採用に苦戦していると考えられる。様々な要因があると考えられるが、県全体で若者の県内定着を進めていくためには、西部の企業の魅力を高める・伝える取組が必要になる。
- **新しい形態の採用チャネルに対して企業の利用はほぼなし**
 - 回答企業のうち、ポータルサイト・キャリアセンターの利用率は高いが、リファラル・エージェントといった新形態、理系専門ポータルといったターゲット型の採用チャネルの利用がほぼ見られない回答となった。
 - 採用チャネルの調査は本アンケートの主目的ではなく、今後、詳細な調査が必要である。



ワークライフバランス（特に休日関係）が採用結果に影響を与えている可能性がある

調査項目	内定なし	内定あり	全国平均
給与	196,201円	198,074円	225,400円
年間休日	109.4日	114.7日	110.5日
有給取得率	55.4%	59.3%	60.8%
3年後離職率	26.5%	29.8%	31.2%
残業時間	15.3 h	14.5 h	13.2 h

■主要2指標（給与、年間休日）の詳細分析

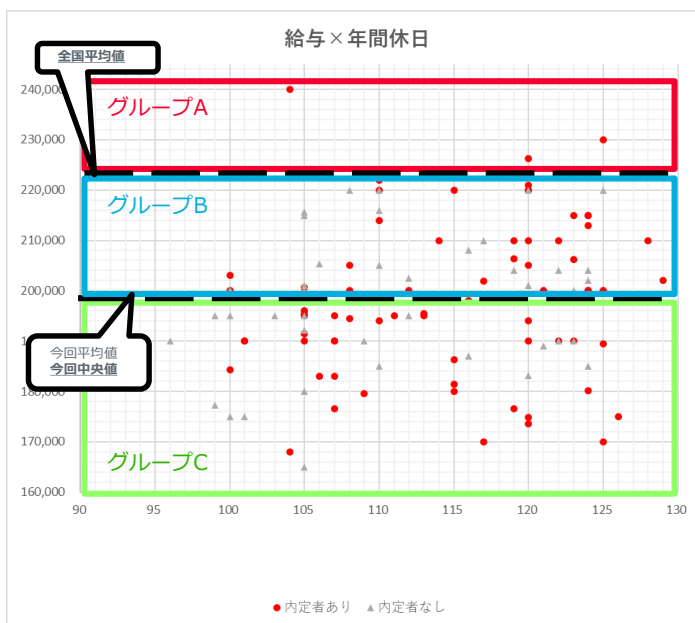


年間休日と内定状況の分析

- 【グループA】
✓ 完全週休2日水準（115日）以上になると、内定者を獲得しやすい
- 【グループB】
✓ 法定休日水準（105日）以上、完全週休2日水準（115日）未達は、半数以上の企業が内定者を確保できている
- 【グループC】
✓ 法定休日水準（105日）未達は、内定者が少なく、内定者を獲得しづらい＝響かない求人 ※給与水準も低い傾向

✓ 給与水準に関係なく、年間休日が多く、採用ができていない企業がある。企業（特に中小企業）が大学生を採用するためのノウハウがあると考えられる。→調査実施予定

標本分析	全体	内定あり	内定なし
年間休日115日以上	58	42 72%	16 27%
年間休日105以上115日未満	50	27 54%	23 46%
年間休日105日未満	18	7 39%	11 61%



給与と内定状況の分析

- 【グループA】
✓ 全国平均（225,400円）を超える企業は内定者を獲得できている ※n数が少ないため参考情報
- 【グループB、C】
✓ 採用結果と給与の関係性は見えにくい（給与水準が低くても採用できている企業は多い）

標本分析	全体	内定あり	内定なし
225,400円（全国平均）以上	3	3 100%	0 0%
199,962円以上、225,400円未満	56	31 55%	25 45%
199,962円（中央値）未満	67	42 63%	25 37%

業種別の特長分析

※n数が少ないため参考情報



給与と年間休日の影響など全体とほぼ同じ傾向だが、**業種別に指標の特徴がある**

CD	業種_大分類	有効回答数	内定状況		内定あり		内定なし	
			内定あり	内定なし	平均給与	年間休日	平均給与	年間休日
D	建設業	23	12 (52.2%)	11 (47.8%)	197,355	110.3	203,296	107.8
E	製造業	21	10 (47.6%)	11 (52.4%)	196,638	115.6	193,125	109.4
G	情報通信業	20	13 (65.0%)	7 (35.0%)	200,983	121.2	196,714	122.7
I	卸売業, 小売業	24	15 (62.5%)	9 (37.5%)	193,343	108.4	196,797	105.7

※有効回答数（n数）が20以上の4業種について分析

■全業種の有効回答平均値を100%とした場合の労働条件の比較

1. 建設業

業種 CD	業種_大分類	内定状況	平均給与	年間休日	有給取得率	3年後離職率	平均残業
D	全業種平均		197,340	113	57.7%	28.8%	14.8
	建設業	全体	200,184	109.1	56.3%	16.3%	14.9
全業種平均比		101.4%	96.9%	97.5%	56.8%	100.9%	
内定あり		197,355	110.3	60.3%	18.0%	15.9	
全業種平均比		100.0%	97.9%	104.4%	62.5%	107.4%	
内定なし		203,296	107.8	52.0%	13.7%	13.8	
全業種平均比		103.0%	95.8%	90.0%	47.7%	93.1%	

- ・業種全体として、平均給与は全業種平均より高く、**年間休日、有給取得率が低い**傾向にある。
- ・内定あり/なしでは、**年間休日と有給取得率の差がある**。給与、残業時間は逆転が見られた。

2. 製造業

業種 CD	業種_大分類	内定状況	平均給与	年間休日	有給取得率	3年後離職率	平均残業
E	全業種平均		197,340	113	57.7%	28.8%	14.8
	製造業	全体	194,798	112.3	62.5%	40.6%	17.2
全業種平均比		98.7%	99.8%	108.2%	141.1%	116.4%	
内定あり		196,638	115.6	66.7%	30.2%	13.2	
全業種平均比		99.6%	102.7%	115.5%	105.1%	88.9%	
内定なし		193,125	109.4	58.6%	57.9%	20.9	
全業種平均比		97.9%	97.2%	101.5%	201.2%	141.4%	

- ・業種全体として、**有給取得率と離職率が高く、残業時間が長い**傾向にある。
- ・内定あり/なしでは、**給与以外の指標の格差が大きく、二極化**傾向にある。

業種別の特長分析

※n数が少ないため参考情報



3.情報通信業

業種 CD	業種_大分類	内定状況	平均給与	年間休日	有給取得率	3年後離職率	平均残業
	全業種平均		197,340	113	57.7%	28.8%	14.8
G	情報通信業	全体	199,411	121.8	54.7%	19.0%	14.9
		全業種平均比	101.0%	108.2%	94.7%	66.2%	100.4%
		内定あり	200,983	121.2	53.7%	22.6%	15.6
		全業種平均比	101.8%	107.7%	93.1%	78.5%	105.8%
		内定なし	196,714	122.7	56.4%	13.4%	13.4
		全業種平均比	99.7%	109.0%	97.8%	46.5%	90.6%

- ・業種全体として、年間休日が高い水準にあり、有給取得率が低い傾向にある。
- ・内定あり/なしでは、年間休日面に差はなく、給与が高い企業が内定者を獲得できている。

4.卸売業/小売業

業種 CD	業種_大分類	内定状況	平均給与	年間休日	有給取得率	3年後離職率	平均残業
	全業種平均		197,340	113	57.7%	28.8%	14.8
I	卸売業/小売業	全体	194,442	107.4	54.6%	32.4%	13.5
		全業種平均比	98.5%	95.4%	94.6%	112.6%	91.1%
		内定あり	193,343	108.4	58.5%	35.6%	15.0
		全業種平均比	98.0%	96.3%	101.4%	123.8%	101.5%
		内定なし	196,797	105.7	48.1%	21.7%	10.9
		全業種平均比	99.7%	93.9%	83.3%	75.3%	73.9%

- ・業種全体として、残業時間を除くすべての指標が平均より悪い傾向にある。
- ・内定あり/なしでは、特に有給取得率の差が大きい。また残業時間と離職率は内定ありが高い。

東部企業と西部企業の比較

※本社の所在地で区別

※西部n数が少ないため参考情報



県東部と県西部では、**内定者獲得率に大きな差が存在している**

①内定状況	全体	内定なし	内定あり	内定なし	内定あり
東部の企業	89	31	58	34.8%	65.2%
西部の企業	11	8	3	72.7%	27.3%

■全業種の有効回答平均値を100%とした場合の労働条件の比較（東部、西部）

エリア CD	業種_大分類	内定状況	平均給与	年間休日	有給取得率	3年後離職率	平均残業
EAST	全業種平均		197,340	113	57.7%	28.8%	14.8
	東部（県内）	全体	196,586	113.2	57.8%	28.5%	14.6
全業種平均比		99.6%	100.6%	100.1%	99.1%	98.4%	
内定あり		198,109	115.5	59.1%	30.6%	14.6	
全業種平均比		100.4%	102.6%	102.4%	106.2%	98.7%	
内定なし		193,541	108.9	55.3%	23.7%	14.5	
全業種平均比		98.1%	96.7%	95.8%	82.4%	97.9%	

エリア CD	業種_大分類	内定状況	平均給与	年間休日	有給取得率	3年後離職率	平均残業
WEST	全業種平均		197,340	113	57.7%	28.8%	14.8
	西部（県内）	全体	198,483	106.5	56.7%	30.5%	19.5
全業種平均比		100.6%	94.6%	98.2%	106.1%	131.5%	
内定あり		196,700	113.0	67.0%	20.0%	24.7	
全業種平均比		99.7%	100.4%	116.0%	69.5%	167.1%	
内定なし		199,152	104.1	52.8%	37.5%	17.5	
全業種平均比		100.9%	92.5%	91.5%	130.5%	118.1%	

- ・西部は、東部に比べ採用に苦戦していると考えられる。
- ・西部は、**内定ありとなしで、年間休日、有給取得率、離職率に大きな差が見られる。**



リファラル・エージェント・理系専門ポータルなどの市場アプローチがほぼなし

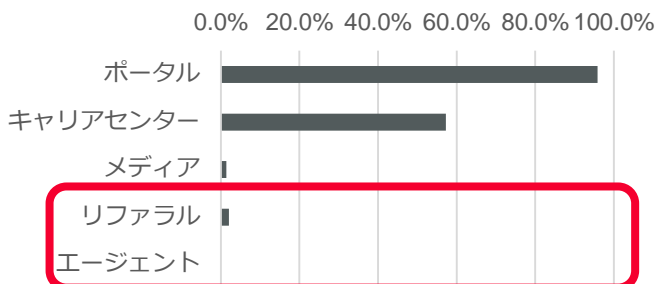
新卒ポータル利用率

	回答数	利用率
ジョブカフェ	122	84.1%
キャリアC	83	57.2%
リクナビ	27	18.6%
マイナビ	74	51.0%
キャリアス	44	30.3%
その他	19	13.1%

回答数 (UU) 145社

※採用状況・労働条件未回答企業含む

主要提供サービス形態別利用率



新しい採用形態への動きはほぼなし

※理系専門ポータルも2件のみ

- ・ポータルサイトではジョブカフェが84.1%と最多。また利用企業の約9割が他のアクションを行っており、ジョブカフェ単体のみの利用に比べ内定率に約2倍の差が見られた。
- ・キャリアセンターは約6割が利用。
- ・民間サービスではマイナビの利用が51.0%が最多。
- ・ターゲット型・リファラル採用・新卒エージェントなど多様な採用チャネルの活用が少ない。

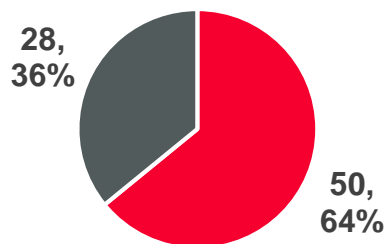
【参考】 SNS利用と企業の内定率には相関がなく影響は少ないと考えられる。

SNS利用あり



■ 内定あり ■ 内定なし

SNS利用なし



■ 内定あり ■ 内定なし

SNS利用率 : 38.1% (48/126社)

※母数：採用状況・労働条件を回答した企業 (126社)

- ・TikTokの利用企業は1社となり、写真・テキストとは異なるショート動画には、対応が遅れていると考えられる。

採用チャネル・SNSに関する分析
 ※SNSについてはn数が少ないため参考情報



3. 採用チャネル・SNSに関する調査結果

ジョブカフェ	全業種	内定なし	内定あり	内定なし	内定あり
ジョブカフェ	106	40	66	37.7%	62.3%
ジョブカフェのみ	10	6	4	60.0%	40.0%
ジョブカフェとその他サービスの併用	96	34	62	35.4%	64.6%
a.ポータルサイト	91	30	61	33.0%	67.0%
b.リファラル	2	1	1	50.0%	50.0%
c.エージェント	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
d.メディア	2	2	0	100.0%	0.0%
e.大学キャリアセンター	59	21	38	35.6%	64.4%
主要採用ポータルサイト	全業種	内定なし	内定あり	内定なし	内定あり
主要ポータルサイト小計	107	36	71	33.6%	66.4%
a.リクナビ	21	4	17	19.0%	81.0%
b.マイナビ	63	18	45	28.6%	71.4%
c.キャリアタス	38	14	24	36.8%	63.2%
主要サービス形態別	全業種	内定なし	内定あり	内定なし	内定あり
a.ポータルサイト	107	36	71	33.6%	66.4%
b.リファラル	3	1	2	33.3%	66.7%
c.エージェント	0	0	0	#DIV/0!	#DIV/0!
d.メディア	2	2	0	100.0%	0.0%
e.大学キャリアセンター	70	25	45	35.7%	64.3%
SNSの利用状況	全業種	内定なし	内定あり	内定なし	内定あり
a.Twitter	15	6	9	40.0%	60.0%
b.Facebook	22	10	12	45.5%	54.5%
c.LINE	4	1	3	25.0%	75.0%
d.Instagram	29	16	13	55.2%	44.8%
e.TikTok	1	0	1	0.0%	100.0%

(参考) 島根県内若年者就労環境調査結果の概要 第4回運営協議会資料より抜粋



調査概要

- 目的
 - 島根県内の若年層の離職の実態、離職や転職の経験や意向、就労環境に関する不満や要望などを明らかにする。
 - 島根県内の学生の県内就職の意向、県内事業者に関する認識を調査し、県内事業者に対する期待や県内事業者に不足しているものを把握する。
- 実施期間
 - アンケート：令和3年 7月21日～8月13日、ヒアリング：8月下旬～9月
- 調査対象
 - 社会人：島根県内で働く18～29歳の人
 - 学生：松江高専（4年生以上）、島根県立大学、島根大学の学生
- 回答数
 - 社会人：アンケート 464人、ヒアリング23人
 - 学生：667人

トピックス

- 社会人（離職経験者）
 - 今回、調査に回答した464人中、離職経験者は、約4人に1人にあたる107人（23.1%）であった。
 - 94.4%が個人的な理由で離職し、そのうち「職場に不満があった」と回答したのは53人（52.5%）で半数を超える。
 - 不満で最も多かったのは「社内の人間関係に問題があった」で28人（52.8%）。次いで「給与が十分でなかった」が24人（45.3%）となっている。
 - 一方で、最終学歴が大学（学部卒）と回答した人34人のうち、「給与が十分でなかった」は3人（17.6%）に留まる一方で「仕事内容が就職前の説明と違った」が7人（41.2%）であった。
 - いわゆる3年以内に離職する早期離職者は66.4%にのぼる一方で、3年以上勤務してから離職する人も約3人に1人にあたる28.0%いる。
 - 在職期間と不満の相関関係をみると、「会社の将来性が見えなかった」と回答したのは在職期間3年以上の人が12人（70.6%）と最も割合が高かった。
- 学生
 - 今回、調査に回答した学生は全体で667人おり、県内出身者は262人（39.3%）で、県外出身者は405人（60.7%）であった。
 - 就職したい地域（複数回答）では、島根県を選択したのは282人で全体の42.3%を占めた。
 - また、県外出身の学生も35.7%が島根県を候補として選択した
 - 就職先の職場に求めることについては、「自分のやりたい仕事（職種）ができる」が337人（56.5%）で最も多く、逆に求めない事柄では、「休日・休暇がとれない（少ない）」が335人（50.2%）、次いで「ノルマがきつい」が288人（43.2%）となっている。